

令和 7 年度

子ども総合センター事業概要

(令和 6 年度実績)



令和 7 年 7 月

宮城県子ども総合センター

目 次

I 宮城県子ども総合センターの概要

1 沿 革	1
2 組織概況	3
3 業務概要	4

II 令和6年度事業実施概要

1 子どもメンタルクリニック事業	5
(1) 附属診療所診療状況	5
(2) 自閉症家族教室の開催	6
(3) 教育・保健・福祉等関係機関の支援及び専門的技術支援	7
(4) 所内勉強会等の実施	7
2 子どもデイケア事業	8
(1) 登録児童生徒の概要	8
(2) プログラム実施状況	9
(3) 本人・家族支援	10
(4) 関係機関との連携	11
(5) 子どもデイケア終了者に対するフォローアップ	11
3 児童健全育成事業	12
(1) 児童文化普及事業	12
(2) のびのびサロン運営事業	12
(3) 関係団体活動支援事業	12
4 不登校児童等支援事業	13
○ 不登校相談・支援機関等研修会の開催	13
5 母子保健児童虐待予防事業・母子保健体制強化事業	14
○ 保健師等母子保健関係者に対する研修	14
6 専門職研修事業	15
(1) 職員等研修（詳細）	17
(2) 現任保育士研修（詳細）	20
(3) 保育士等キャリアアップ研修（詳細）	22
(4) 子育て支援員研修（詳細）	23
(5) 放課後児童支援員宮城県認定資格研修（詳細）	27
7 子どもの心のケア推進事業	30
(1) 子どもの心のケア体制強化事業	30
(2) 子どもの心のケア研修事業	30

8 発達障害者支援センターの運営	3 3
(1) 発達障害者支援センター活動実績	3 3
(2) 新規ケース支援検討会・定期連絡会	3 5
(3) 情報交換会	3 5
(4) 出前講座	3 6
(5) 研修会の開催	3 6
(6) ひらがな音読支援	3 9
(7) 発達障害者家族支援	4 0

I 宮城県子ども総合センターの概要

1 沿革

- ・平成9年度～平成10年度 「みやぎ子ども総合支援機能あり方検討委員会」を設置。子どもに関する様々な現象が社会問題化し、行政として高度な対応が求められていたことから、学識経験者で構成する委員会を設置し、児童相談所の機能と県立児童館の機能を融合し、子どもの健全育成を図りつつ、問題を抱えた子どもたちをケアしていく総合的支援機能のあり方について検討。
- ・平成11年度～平成12年度 「みやぎ子ども総合支援機能あり方検討委員会」の検討結果を受け、関係部局と意見交換しながら、具体的な組織のあり方について検討。
- ・平成12年4月 宮城県中央児童相談所において「子どもメンタルクリニック」を暫定実施。
- ・平成13年4月 宮城県中央児童相談所と宮城県中央児童館を統合再編し、多様な子どもの育成支援、精神科診療、人材育成など、子どもや家庭、関係機関等を総合的に支援する宮城県子ども総合センター(宮城県子ども総合センター附属診療所古川診療室を含む。)を設立するとともに、児童相談所の機能を強化した地域子どもセンターを県中央及び古川に加え、沿岸地域の体制を強化するために石巻に支所を設置。
- ・平成14年4月 宮城県子ども総合センター附属診療所石巻診療室を開設。
- ・平成15年9月 精神科通院医療の一形態である子どもデイケア事業を開始。
- ・平成18年4月 宮城県子ども総合センター附属診療所気仙沼診療室を開設。
宮城県子ども総合センター附属診療所古川診療室を宮城県子ども総合センター附属診療所大崎診療室に名称変更。
- ・平成23年3月 宮城県子どもの心のケアチーム巡回相談を開始。
- ・平成24年2月 東日本大震災中央子ども支援センター宮城県事務所が宮城県子ども総合センター内に設置される。
- ・平成25年3月 宮城県中央児童館を廃止。児童遊園及び緑地部分を仙台市に譲渡。
- ・平成25年4月 仙台市青葉区本町一丁目4-39から名取市美田園二丁目1-4(まなウェルみやぎ)に移転。
- ・平成26年3月 東日本大震災中央子ども支援センター宮城県事務所が閉鎖される。
- ・平成26年4月 心のケア推進班を新設。
東日本大震災みやぎ子ども支援センターが宮城県子ども総合センター内に設置される。
- ・平成28年3月 東日本大震災みやぎ子ども支援センターが閉鎖される。

- ・平成29年3月 心のケア推進班を廃止。
- ・平成31年4月 発達障害者支援班を新設。
- ・令和元年7月 宮城県子ども総合センター内に発達障害者支援センターを設置。
- ・令和4年6月 療育デイケア事業においてショートケアを導入。
- ・令和4年11月 附属診療所において、段階的に電子カルテシステムを導入。

2 組織概況（令和7年4月1日現在）

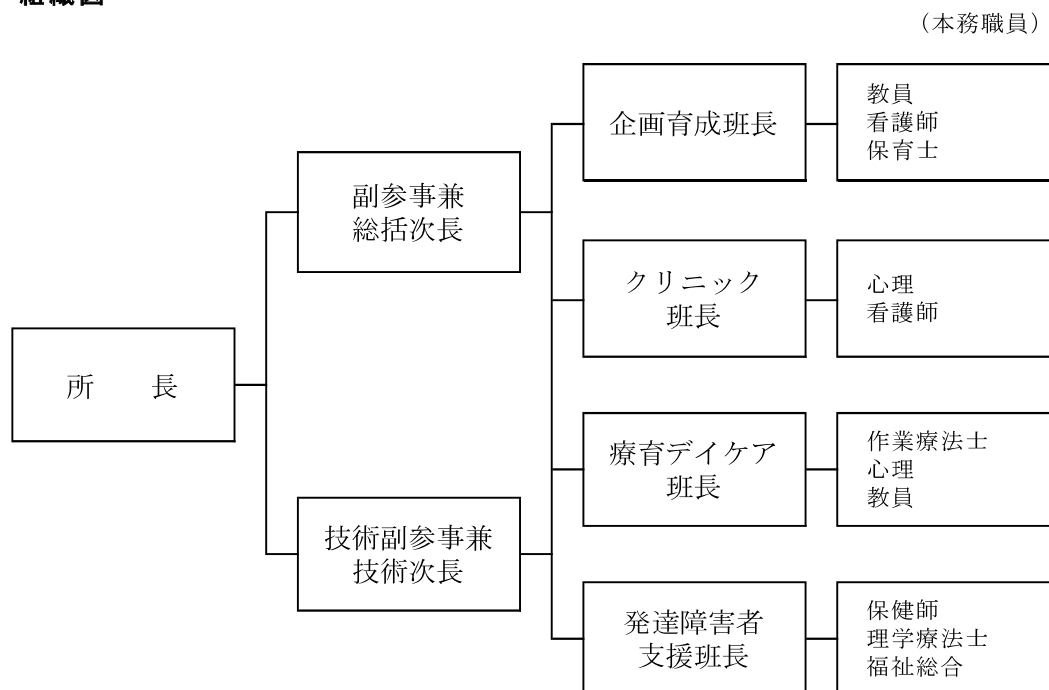
宮城県子ども総合センター

名取市美田園二丁目1-4

子どもメンタルクリニック

- 宮城県子ども総合センター附属診療所
名取市美田園二丁目1-4
- 宮城県子ども総合センター附属診療所**大崎診療室**
大崎市古川駅南二丁目4-3（宮城県北部児童相談所内）
- 宮城県子ども総合センター附属診療所**石巻診療室**
石巻市あゆみ野五丁目7（宮城県東部児童相談所内）
- 宮城県子ども総合センター附属診療所**気仙沼診療室**
気仙沼市東新城三丁目3-3（宮城県東部児童相談所気仙沼支所内）

組織図



3 業務概要

(1) 子どもメンタルクリニック

児童精神科医を中心として、子どもの成長発達や、育児不安などに関する悩みを持つ保護者、情緒面の問題を持つ子ども及び発達障害の子どもなどに関する診療を行う。また、児童相談所や市町村等関係機関に専門的な技術支援を行う。

(2) 子どもデイケア

様々な心の問題及び発達の問題などにより、不登校など社会に適応しにくい子どもたちを対象に、社会生活を営む上で必要な生活技能を高めるための訓練や学習プログラムを提供し、適応能力の向上を図る。

(3) 児童健全育成

遊びや児童文化に関する研修等を通じ、地域や関係機関で様々な子どもの特性や成長段階に応じた健全育成事業を実施する人材を育成し、地域の子育て中の家族を対象に、遊び場の提供として「のびのびサロン」の運営などを実施する。

(4) 不登校児童等支援

不登校児童生徒に対応している機関の職員に対して、不登校の現状と抱えている課題や児童生徒とその家族に対する支援方法について考え、理解を深める機会として、不登校相談・支援機関等研修会を実施する。

(5) 母子保健児童虐待予防

母子保健業務に従事する職員を対象に、育児不安を抱える母親への支援技術向上及び児童虐待を予防するための地域体制への支援を目的とした研修会を開催する。

(6) 専門職研修

複雑化している子どもの相談業務や健全育成活動を的確に実施するため、児童福祉司、児童心理司、児童厚生員等関係職員の実務研修や、保育士が多様化した保育ニーズや課題に対応できるよう、専門知識や技術習得の研修を実施する。また、子ども・子育て支援新制度の施行に伴う放課後児童支援員を対象とした認定資格研修及び子育て支援員研修を実施する。

(7) 子どもの心のケアの推進

東日本大震災や豪雨等による自然災害の多発により様々な体験をした子どもたちの心のケアを行うために、附属診療所における児童精神科医療体制の強化を図る。保育士や教員など子どものメンタルヘルスに関わる支援者の対応力向上を図ることを目的に、コンサルテーションや事例検討会、研修会などを実施する。

(8) 発達障害者支援体制の整備

発達障害に対する社会的認知の高まりなどによる相談件数の増加や多様化する支援ニーズに対応するため、身近な地域で充実した支援を受けられる体制の整備に向け、子ども総合センター内に設置した「発達障害者支援センター」において、発達障害者への総合的な支援を行う専門機関として、一次支援機関（市町村、障害児等療育支援事業受託事業所等）・二次支援機関（「発達障害者地域支援マネジャー」配置事業所）への技術支援を行う。また、県内の発達障害支援に携わる職員を対象とし、支援技術の向上を図るための各種研修会を実施する。

Ⅱ 令和6年度事業実施概要

1 子どもメンタルクリニック事業

児童精神科医を中心として、情緒面の問題（強い不安、抑うつ、強迫、不適応等）や発達障害（自閉スペクトラム症、ADHD等）を持つ子ども等に対し保険診療を行う子どもメンタルクリニック事業を実施した。

(1) 附属診療所診療状況（デイケア通所児童を含む。）

子ども総合センター附属診療所、大崎診療室、石巻診療室及び気仙沼診療室（以下「当診療所」という。）においては、新患651人の児童や親が受診し、延べ患者数は9,524人に達している。

新患の主訴は、幼児期から思春期までの様々な情緒面の問題、発達に関する診断、発達障害を背景とした行動上の問題などが多い。精神的な症状や行動上の問題などが大きく、治療を必要とする患者には、継続的な診療を行っている。

○ 令和6年度診療状況

単位：人

診療室	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
名取	新患	17	33	48	70	36	35	63	64	33	25	51	59	534
	延べ	492	589	559	640	518	521	672	584	522	560	542	578	6,777
大崎	新患	5	8	9	6	6	9	7	7	8	6	6	6	83
	延べ	109	128	112	142	104	113	141	122	126	116	101	125	1,439
石巻	新患	2	1	0	4	3	0	1	0	0	1	1	0	13
	延べ	72	81	71	77	79	66	91	70	87	60	74	59	887
気仙沼	新患	2	1	2	2	1	1	3	2	1	1	4	1	21
	延べ	31	37	33	36	37	30	35	35	34	36	36	41	421
合計	新患	26	43	59	82	46	45	74	73	42	33	62	66	651
	延べ	704	835	775	895	738	730	939	811	769	772	753	803	9,524

○ 患者地区別診療状況

単位：人

地区	仙台	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	他県	保護所	その他	合計
受診者数	418	1,766	3,942	1,045	199	289	1,274	490	18	57	26	9,524

○ 年次推移

診療室	年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
名取	新患	910	760	790	785	753	823	792	695	874	576	609	534
	延べ	4,905	5,620	5,968	5,798	5,517	5,959	6,128	6,546	6,720	6,569	7,122	6,777
大崎	新患	110	96	75	82	61	63	45	64	48	95	86	83
	延べ	1,204	1,272	1,235	1,173	949	998	1,063	1,271	1,459	1,475	1,472	1,439
石巻	新患	82	56	50	33	50	32	34	42	61	53	12	13
	延べ	387	340	393	301	383	415	482	652	913	1,086	1,030	887
気仙沼	新患	43	32	44	27	41	31	39	30	37	31	16	21
	延べ	265	304	320	291	272	308	431	429	467	444	426	421
合計	新患	1,145	944	959	927	905	949	910	831	1,020	755	723	651
	延べ	6,761	7,536	7,916	7,563	7,121	7,680	8,104	8,898	9,559	9,574	10,050	9,524
診療日数		251	245	244	237	244	244	240	243	241	241	236	235
医 師 数 (常勤換算)		4.1	4.3	4.1	3.15	2.4	2.5	2.95	3.7	3.55	3.45	3.45	2.85

※ 診療日数は名取診療室の年間数です。

(2) 自閉症家族教室の開催

当診療所に通院歴があり自閉スペクトラム症と診断された児童の保護者等を対象に、障害についての正しい知識を習得し、障害特性に合った養育方法を学ぶことを目的として実施した。発達の診断や見立てを主訴として来院する児童が依然として多く、診療ではフォローしきれない部分を当事業で補うことが期待されている。

○ 開催状況

<前期>

日時	テーマ	講師	参加者数
令和6年5月13日（月） 午前10時～正午まで	自閉スペクトラム症について	宮城県子ども総合センター 技術次長（小児科医） 佐藤 寛記	7人 （6家族）
令和6年6月17日（月） 午前10時～正午まで	お子さんの特徴をつかもう	公認心理師 臨床心理士 西澤 由佳子 氏	6人 （6家族）
令和6年7月1日（月） 午前10時～正午まで	お子さんに合わせた支援を 考えよう	公認心理師 臨床心理士 西澤 由佳子 氏	7人 （6家族）
令和6年8月30日（金） 午前10時～正午まで	先輩保護者からのメッセージ	宮城県発達障害ペアレント・メンター 2人	4人 （4家族）

<後期>

申込者数が定員（5名）に達しなかったため中止。

(3) 教育・保健・福祉等関係機関の支援及び専門的技術支援

教員、保健師、児童福祉司などのコンサルテーションを行い、関係職種の連携と地域における児童福祉及び児童精神保健の向上を図った。

(4) 所内勉強会等の実施

スタッフの資質の向上を目的とし、当診療所に通院中の子どもについて、事例検討や情報共有を11回実施した。

2 子どもデイケア事業

不登校、ひきこもり、発達障害等社会生活に不適應を起こし、精神医学的な関わりが必要な児童生徒に対し、集団の場面において、医療・教育・福祉的側面からの専門的なケアを行った。

(1) 登録児童生徒の概要

令和6年度は164日開設。登録児童生徒数は22人で、利用者実人数は20人、利用者延人数は606人である。

1) 月別登録者・利用者・1日の平均利用者数

単位：人

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
開設日数	12	15	16	17	12	12	15	16	11	14	14	10	164
登録者数	15	17	17	17	17	17	17	19	18	18	20	20	
利用者実人数	12	14	14	13	13	13	14	16	15	15	17	16	
利用者延人数	40	56	55	61	41	35	52	57	44	55	70	40	606
1日の平均利用者数	3.3	3.7	3.4	3.6	3.4	2.9	3.5	3.6	4.0	3.9	5.0	4.0	3.7

2) 学年

単位：人

小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	計
0	0	0	0	0	5	3	8	6	22

3) 性別

単位：人

男	女	計
9	13	22

4) 居住地（市町別）

単位：人

仙台市	柴田町	名取市	岩沼市	亘理町	山元町	大和町	大崎市	石巻市	計
3	3	6	2	3	1	1	1	2	22

5) 主たる診断名

単位：人

広汎性発達障害	不安障害	適応障害	強迫性障害	知的障害	計
12	3	3	3	1	22

6) 学年別見学者実数

単位：人

学年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	計
見学者実数	0	1	0	1	1	1	1	6	2	13

7) 学年別お試し利用者数

単位：人

学年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	計
お試し実数	0	0	0	0	1	2	0	4	4	11

8) 月別お試し利用者延べ人数

単位：人

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
延人数	6	7	3	8	7	6	12	7	7	8	6	5	82

9) 終了者転帰

単位：人

通学継続	進学	在宅	県外転出	計
4	5	0	0	9

10) 年次推移

単位：人

年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
登録者数	16	22	20	20	22	24	29	26	18	24	21	22
利用者延人数	392	833	1,065	1,178	993	968	794	667	517	535	678	606

(2) プログラム実施状況

1) 通常プログラム

プログラム名	年間実施回数
ポケットタイム（コミュニケーション・ワーク）	36回
ものづくりクラブ（創作活動）	24回
おにぎりクラブ（調理活動）	21回
おんかつ（音楽活動）	15回
科学あそび（理科実験等活動）	12回
理科教室	2回
運動クラブ・運動あそび（運動、ゲーム等）	9回
ゆったり好き活（創作、感覚あそび、軽運動等）	6回
わくわくサロン（レクリエーション活動）	15回
かんたんおにぎりクラブ（調理活動）	17回
学びの時間（学習活動）	168回

2) 進路学習会、先輩の話を聞く会

プログラム名	実施日	参加者数
「進路学習会」 ・情報提供「中学卒業後の進路について」 ・懇談	令和6年7月9日(火) (午後プログラム)	14人 (利用者6人) (保護者8人)

先輩の話を聞く会 ・デイケア卒業生から進学等体験談を聞く ・質疑応答、懇談	令和6年7月30日(火) (午後プログラム)	6人 (利用者3人 卒業生3人)
---	---------------------------	------------------------

3) 季節・所外行事プログラム

プログラム名	実施日	参加者数
季節の行事「夏まつり」	令和6年8月8日(木)	9人
季節の行事「クリスマス会」	令和6年12月20日(金)	12人
所外行事「動物ふれあい体験、井上農園」	令和6年10月11日(金)	8人
所外行事「東北歴史博物館、塩竈神社」	令和7年1月16日(木)	7人

4) 特別プログラム

プログラム名	実施日	参加者数
SNS教室 講話「SNSでのやり取りを学ぼう」	令和6年11月26日(火) (午後プログラム)	6人 (中学生利用者)
親子行事「食品サンプルづくり体験」	令和7年2月10日(月) (午後プログラム)	18人 (利用者11人 その家族7人)

(3) 本人・家族支援

1) 面接実施件数

単位：件

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
本人面接	4	6	2	3	4	1	3	3	2	3	7	6	44
保護者面接	7	4	3	3	5	5	2	3	4	3	7	4	50

2) 評価会議の対象者数

開催月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
登録者	15	17	17	17	17	16	17	19	18	18	20	20	211
お試し利用者	3	2	3	4	4	3	4	2	3	3	2	2	35

3) 家族のつどいの開催

	内容	実施日	参加者数
1回目	・懇談 ・個別面談(希望者)	令和6年5月8日(水) 午後1時から午後2時40分まで	5人 (4家族)
2回目	・懇談 ・デイケア活動紹介(スライドショー)	令和6年12月4日(水) 午後1時から午後2時40分まで	6人 (5家族)

(4) 関係機関との連携

1) 学校連絡会の開催

内容	実施日	参加者数
デイケア登録者の在籍校の担当者を対象とした情報共有 [子どもデイケア事業説明 ・施設内見学・個別情報交換]	令和6年8月6日(火) 午後1時30分から 午後3時15分まで	9人 [小学校2校、中学校7校 計9校]

2) 学校訪問及び関係機関支援者会議等への出席

内容	実施件数
デイケア登録者の在籍学校へ訪問・情報共有	実5校 / 延9校(延9名)
ケース会議(学校参加含)及び関係者情報共有の参加	10回 [ケース会議1回、情報共有9回 対象者実人数2人]

3) デイケア登録者の在籍学校に対する通所証明書の発行(件)

月	6	8	10	12	2	3	計
発行件数	17	17	17	19	18	19	107

(5) 子どもデイケア終了者に対するフォローアップ

内容	実施回数・人数
自由来所	1回:5人、2回:1人、7回1人
電話連絡	6人
卒業生の会(交流会)	令和6年12月25日(水):参加者4人 (通所終了後3年以内の希望者)

3 児童健全育成事業

(1) 児童文化普及事業

児童文化を次世代に伝え、広く普及することにより、児童福祉の向上と児童の自主的で創造的な活動が助長されることを目的に児童文化講座を開設した。

○児童文化講座

【開催日】令和6年9月9日（月）・10月8日（火）

【会場】まなウエルみやぎ 第1・2研修室
東京エレクトロンホール宮城 602中会議室

【参加者】82人（2日間）

【内容】「紙芝居はすばらしい共感の世界！」
紙芝居文化の会みやぎ 代表 伊藤 俊子 氏

(2) のびのびサロン運営事業

まなウエルみやぎ1階の「のびのびルーム」と「にこにこラウンジ」において、地域の子育て中の家族を対象に、遊び場の提供として「のびのびサロン」を運営した。

【運営日】火曜日から木曜日まで

【利用時間】午前9時30分から午前11時45分まで

【利用者数】延べ1,397人

【運営日数】145日

(3) 関係団体活動支援事業

市町村児童館活動等の活性化を図るために、宮城県児童館・放課後児童クラブ連絡協議会（県児連）等の自主運営に対して支援を行った。

○ 宮城県児童館・放課後児童クラブ連絡協議会運営支援

通年（児童館職員等研修会共催3回）

○ 児童館・放課後児童クラブ等訪問

・大河原児童センター児童クラブ
・利府町中央児童センター

○ 宮城県地域活動（母親クラブ）連絡協議会の育成のため、アドバイスや地域連携ルームの貸し出しなどの支援

4 不登校児童等支援事業

適応指導教室等の職員を対象にした研修会を実施した。

○ 不登校相談・支援機関等研修会の開催

不登校児童生徒に対応している機関の職員が、不登校の現状と抱えている課題や児童生徒とその家族に対する支援方法について考え、理解を深めるための研修会を開催した。

○不登校相談・支援機関等研修会

【開催日】令和6年7月24日（水）

【会場】まなウェルみやぎ 第3研修室

【参加者】45人

【内容】講義 「WISC－IVの読み取りを活用した不登校児童生徒の理解と対応」

講師 東北福祉大学 総合福祉学部 福祉心理学科
教授 中村 恵子 氏

○適応指導教室等訪問

【訪問日】令和6年11月21日（木）

令和6年12月23日（月）

【会場】美里町子どもの心のケアハウス「はなみずき教室」

亘理町子どもの心のケアハウス「さざんか教室」

【訪問職員】企画育成班 主幹 1人、主査 1人（美里町・亘理町）

療育デイケア班 技術主幹（班長） 1人、技術主幹 1人（亘理町）

【訪問内容】（1）活動・運営状況と課題等について

（2）当センターの研修事業についての意見や要望

5 母子保健児童虐待予防事業・母子保健体制強化事業

現在、母子保健分野においては様々な専門職が地域で活躍しており、行政保健師にも更なる専門性が求められている。そのため、乳幼児の精神発達やアタッチメントなど母子保健業務に従事する上で必要な知識を深め、市町村乳幼児健診等に求められている発達障害児の早期発見のための手法を学ぶことを目的として研修を実施した。研修には、国が進める5歳児健診の実施に向けて、5歳児健診の実績を持つ自治体から健診・相談の実際やその後の支援について話を聞き、5歳児健診の具体を学べる内容も含めた。

○ 保健師等母子保健関係者に対する研修

研修名	実施日・会場	内 容	対象・参加者数
母子保健体制強化事業研修会 (母子保健分野)	令和6年 6月20日(木) 自治会館(ハイブリッド)	講義 「乳幼児期の子どもの発達～乳幼児健診の時期を中心に～」 講師 宮城県子ども総合センター 技術次長(小児科医) 佐藤 寛記 講義 「アタッチメント形成に課題のある幼児の理解と支援について」 講師 宮城学院女子大学 名誉教授 足立 智昭 氏 話題提供 「5歳児を対象とした健診、相談等の実際」 話題提供者 鈴鹿市子ども政策部子ども家庭支援課 主幹(保健師) 茂木 ちあき 氏 仙台市こども若者局こども家庭部こども家庭保健課母子保健係 保健師 鈴木 真理佳 氏	県・市町村の保健師、市町村母子保健事業に従事する職員等 94人

6 専門職研修事業

(1) 職員等研修

児童虐待、いじめ、不登校、ひきこもり等の様々な子どもをめぐる問題が深刻化している。こうした複雑化している相談業務や、健全育成などを的確に実施するため、児童福祉司、児童心理司、児童厚生員、放課後児童支援員などの職員の実務研修を行い、資質の向上を図った。

- ① 対人援助機関職員基礎研修
- ② 児童館等新任職員研修
- ③ 児童館新任館長研修
- ④ 児童館長研修
- ⑤ 遊びの技術研修会
- ⑥ 放課後児童クラブ職員等ブロック研修会
- ⑦ 放課後児童支援員資質向上研修
- ⑧ 子育てボランティア研修

※ 詳細については、P17 ～ P19 を参照

(2) 現任保育士研修

近年、子育て支援等、良質な保育サービスの提供、子どもの立場に立った保育の質の確保等、多様化した保育ニーズに対応し得る保育士の養成が求められている。こうした保育士の様々な課題に対応できるよう、高い専門知識や技術の習得の研修を行い、資質の向上を図った。

- ① 所長研修
- ② カウンセリング基礎研修
- ③ カウンセリング応用研修
- ④ 相談・支援研修
- ⑤ 大学派遣研修

※ 詳細については、P20 ～ P21 を参照

(3) 保育士等キャリアアップ研修

保育所等（子ども・子育て支援法に基づく特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業をいう。以下同じ。）の保育現場におけるリーダー的職員の育成やその資質の向上を図ることを目的として、厚生労働省雇用均等・児童家庭局保育課長通知「保育士等キャリアアップ研修の実施について」（平成29年4月1日付け雇児保発0401第1号）の別紙「保育士等キャリアアップ研修ガイドライン」（以下「国ガイドライン」という。）に基づく研修を委託により実施した。

※ 詳細については、P22 を参照

(4) 子育て支援員研修

地域において子育て支援の仕事に関心を持ち、子育て支援分野の各事業の担い手となることを希望する者に「子育て支援員」として必要となる知識や技能等の習得を図ることを目的として、「子育て支援員研修事業実施要綱（平成 27 年 5 月 21 日付け雇児発 0521 第 18 号厚生労働省雇用均等・児童家庭局長）」に基づき、都道府県が実施主体となる子育て支援員研修を委託により実施した。

- 基本研修
- 専門研修：地域保育コース（地域型保育）
- 専門研修：放課後児童コース

※ 詳細については、P23 ～ P26 を参照

(5) 放課後児童支援員宮城県認定資格研修

放課後児童健全育成事業に従事する放課後児童支援員として必要な基本的生活習慣を習得するための援助、自立に向けた援助及び家庭と連携した生活支援等に必要な知識・技能の習得等を目的として、「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準（平成 26 年厚生労働省令第 63 号）」第 10 条第 3 項に規定する都道府県認定資格研修を委託により実施した。

※ 詳細については、P27 ～ P29 を参照

(1) 職員等研修（詳細）

名称	対 象 者	内 容 ・ 講 師	実施日・会場
① 職対人 基援助 礎助研 修機関	対人援助機関 の新任職員	講義・演習「対人援助の基本～ソーシャルワークの 視点をもとに～」 東北福祉大学 教授 竹之内 章代 氏	前期：令和 6 年 5 月 21 日(水) 受講者 39 人 まなウェルみやぎ 1 階 多目的室 A 後期：令和 6 年 12 月 17 日(火) 受講者 33 人 まなウェルみやぎ 第 1・第 2 研修室
② 児 童 館 等 新 任 職 員 研 修	児童館・放課後 児 童 ク ラ ブ の 新 任（配 属 さ れ て 3 年 未 満）の 職 員	講義「児童館・放課後児童クラブ職員の服務と役割」 特定非営利活動法子育て応援団ゆうわ 理事長 齋藤 勇介 氏 ※6/18、6/26 それぞれ開催。 研修会場、講義内容は、両日とも同じ	令和 6 年 6 月 18 日(火) 受講者 61 名 令和 6 年 6 月 26 日(水) 受講者 56 名 仙台市生涯学習 支援センター
③ 児 童 館 新 任 館 長 研 修	就 任 し て 3 年 未 満 の 児 童 館 長	講義「今、館長に求められていること ～コンプライアンス研修を実践するポイント～」 国立大学法人岩手大学 教育学部 准教授 深作 拓郎 氏	令和 6 年 5 月 23 日(木) まなウェルみやぎ 1 階 多目的室 A 受講者 22 人
④ 児 童 館 館 長 研 修	児 童 館 長 及 び 児 童 セ ン タ ー 長	講義「こども基本法から考えるこれからの児童館」 工学院大学 教育推進機構教職課程科 教授 安部 芳絵 氏	令和 6 年 9 月 11 日(水) まなウェルみやぎ 1 階 多目的室 A 受講者 38 人

名称	対 象 者	内 容 ・ 講 師	実施日・会場
⑤ 遊 び の 技 術 研 修 会	児童館・放課後 児童クラブで 健全育成に携 わる職員	研修Ⅰ 表現活動「身近なモノ×（ちょこっとだけ）かがく+ ぞうけい＝工作遊び」 仙台市こども専門学校 特任教員 今野 佳代 氏 研修Ⅱ ゲーム・運動遊び「こどもの運動遊び」 名取市那智が丘児童センター 館長 齊藤 寿一郎 氏 ※上記研修を 10/30、12/2 それぞれ開催	令和 6 年 10 月 30 日(木) 仙台市生涯学習支 援センター 第 1 セミナー室、 体育館 受講者 62 人
			令和 6 年 12 月 2 日(月) まなウエルみやぎ 第 1 ・ 2 研修室、 体育館 受講者 50 人
⑥ 放 課 後 児 童 ク ラ ブ 職 員 等 ブ ロ ッ ク 研 修	放 課 後 児 童 ク ラ ブ 職 員 等	ゲーム・運動遊び 「スポーツが苦手でも楽しめる『運動遊び』」 体と心のコンディショニングトレーナー 西間木 由美 氏	令和 6 年 5 月 24 日(金) 仙台市生涯学習支 援センター 体育館 受講者 63 人
			令和 6 年 5 月 31 日(金) まなウエルみやぎ 体育館 受講者 65 人
			令和 6 年 6 月 6 日(木) 大和町総合体育館 受講者 67 人

名称	対 象 者	内 容 ・ 講 師	実施日・会場
⑦ 放課後児童支援員 放課後児童支援員資質向上研修	放課後児童支援員	講義「人間関係をよくするために—自分を知り、他人を知る—」 東北コミュニケーション研究所 所長 高橋 利夫 氏	令和 6 年 11 月 15 日(火) 大崎合同庁舎 1 階大会議室 受講者 30 人
		講義「放課後児童クラブの役割と、求められる『観察力』～子どもの権利を基盤として～」 特定非営利活動法人ベビースマイル石巻 代表理事 荒木 裕美 氏	令和 6 年 12 月 12 日(木) マルホンまきあーとテラス大研修室 受講者 52 人
		講義「放課後児童クラブ等におけるケガの対応、アナフィラキシー・重症低血糖等の対応」 尚絅学院大学 准教授 金野 智津 氏	令和 6 年 12 月 20 日(金) まなウェルみやぎ 第 1・2 研修室 受講者 53 人
		講義「気になる子どもの理解と支援」 宮城学院女子大学 教授 梅田 真理 氏	令和 7 年 1 月 22 日(水) まなウェルみやぎ 第 1・2 研修室 受講者 62 人
⑧ 子育て支援に関わる方（子育てボランティア等） 子育てボランティア研修	子育て支援に関わる方（子育てボランティア等）	講義「乳幼児の心身の発達と環境構成のポイントについて」 東北福祉大学 准教授 山崎 敦子 氏	令和 6 年 12 月 5 日(木) まなウェルみやぎ 多目的室 A 受講者 24 人
		講義「誰もが作ってみたいくなる、手作りおもちゃ」 仙台青葉学院短期大学こども学科客員教授 ノームさんの手作りおもちゃ館館長 芳賀 哲 氏	令和 6 年 11 月 20 日(水) 東北自治研修センター 受講者 16 人
			令和 6 年 11 月 28 日(木) まなウェルみやぎ 多目的室 A 受講者 27 人

(2) 現任保育士研修（詳細）

① 所長研修

実施日・会場	内 容 ・ 講 師
令和6年11月6日(水) まなウェルみやぎ 第1・第2研修室 受講者 49人	講義「職場の活性化を目指し～職員育成とコミュニケーション～」 講師：東北コミュニケーション研究所 所長 高橋 利夫 氏
令和6年12月19日(木) まなウェルみやぎ 第1・第2研修室 受講者 36人	

② カウンセリング基礎研修

実施日・会場	内 容 ・ 講 師
令和6年7月31日(水) 8月1日(木) まなウェルみやぎ 第5・第6研修室 受講者 14人	【1日目】 講義・演習「カウンセリングの基礎～自分自身を知るために～」 【2日目】 講義・演習「問題解決に向けての取組」 東北文化学園大学 教授 藤原 加奈江
令和6年8月8日(木) 8月9日(金) まなウェルみやぎ 第5・第6研修室 受講者 15人	

③ カウンセリング応用研修

実施日・会場	内 容 ・ 講 師
令和6年8月19日(月) 8月20日(火) まなウェルみやぎ 第12・13研修室 受講者 11人	【1日目】 講義・演習「自分を振り返ってみよう～相手に伝わる伝え方～」 【2日目】 講義・演習「問題解決に向けての取組」 東北文化学園大学 教授 藤原 加奈江 氏

④ 相談・支援研修

実施日・会場	内 容 ・ 講 師
令和6年10月25日(金) まなウェルみやぎ 第1・第2研修室 受講者 56人	講義・演習「保育者の専門性を意識した保護者への保育相談支援のあり方」 聖学院大学 講師 上野 直子 氏
令和6年11月1日(金) まなウェルみやぎ 第3・第4研修室 受講者 54人	講義・演習「保育施設におけるカウンセリングマインドとアサーティブ・コミュニケーション」 東北福祉大学 講師 柴田 理瑛 氏

⑤ 大学派遣研修

※ 宮城学院女子大学に委託して実施（3日間）

実施日・会場	内 容 ・ 講 師
令和6年8月20日(火) 宮城学院女子大学 受講者 37人	「虐待の早期発見とその対応」 宮城学院女子大学 教授 足立 智昭 氏
	「対人コミュニケーション」 東北福祉大学 専任講師 柴田 理瑛 氏
	「保護者向け Web アンケートの作成」 宮城学院女子大学 准教授 伊藤 哲章 氏
令和6年8月27日(火) 宮城学院女子大学 受講者 39人	「気になる子どもの発達支援」 宮城学院女子大学 准教授 平川 久美子 氏
	「保育所における食育の課題」 宮城学院女子大学 准教授 丹野 久美子 氏
	「保育組織の危機介入」 東北学院大学 教授 平野 幹雄 氏
令和6年9月3日(火) 宮城学院女子大学 受講者 37人	「スウェーデン発：アウトドアを活用した幼児教育」 「デジタル時代における AI の活用」 宮城学院女子大学 教授 西浦 和樹 氏
	「運動遊びと幼児の健康」 宮城学院女子大学 准教授 守 渉 氏
	「保育ソーシャルワーク」 宮城学院女子大学 教授 熊坂 聡 氏

(3) 保育士等キャリアアップ研修（詳細）

※ （株）ポピンズプロフェッショナルに委託して実施

・1分野：15時間以上

・インターネットを利用した講義（動画視聴）及び演習（ワーク・レポート作成等）

分野	開催期間	研修講師	修了者
① 乳児保育	令和6年9月24日 ～令和7年1月24日	富田 久枝 氏 富田 浩子 氏	876人
② 幼児教育	令和6年9月24日 ～令和7年1月24日	栗原 ひとみ 氏 助川 公継 氏	767人
③ 障害児保育	令和6年9月24日 ～令和7年1月24日	榊原 洋一 氏 井上 祐紀 氏 前嶋 元 氏	767人
④ 食育アレルギー対応	令和6年9月24日 ～令和7年1月24日	太田 百合子 氏 古川 真弓 氏	760人
⑤ 保健衛生・安全対策	令和6年9月24日 ～令和7年1月24日	遠藤 登 氏 田中 秀子 氏	701人
⑥ 保護者支援・子育て支援	令和6年9月24日 ～令和7年1月24日	岡本 依子 氏 小崎 恭弘 氏	790人
⑦ マネジメント	令和6年9月24日 ～令和7年1月24日	久保 隼人 氏	527人
合 計			5,188人

(4) 子育て支援員研修（詳細）

※ 一般社団法人マザー・ウイングに委託して実施

① 地域保育コース（地域型保育）＜多賀城会場＞

ア 基本研修：（②放課後児童コースの基本研修と合同） 修了者：49人

実施日・会場	内 容 ・ 講 師
令和6年8月30日(金) 多賀城市文化センター	ガイダンス 基本科目①「子ども・子育ての家庭の現状」 基本科目②「子ども家庭福祉」 東北福祉大学 総合福祉学部 君島 昌志 氏 基本科目③「子どもの発達」 基本科目④「保育の原理」 東北福祉大学 教育学部 山崎 敦子氏 基本科目⑦「子どもの障害」 自閉症ピアリンクセンター ここねっと センター長 黒澤 哲 氏
令和6年9月3日(火) 多賀城市文化センター	基本科目⑤「対人援助の価値と倫理」 東北福祉大学 総合福祉学部 高野 亜紀子 氏 基本科目⑥「児童虐待と社会的養護」 東北福祉大学 健康科学部 下山田 鮎美 氏 基本科目⑧「総合演習」 一般社団法人マザー・ウイング 代表理事 小川 ゆみ 氏

イ 専門研修

修了者：32人

実施日・会場	内 容 ・ 講 師
令和6年9月6日(金) 多賀城市文化センター	共通科目①「乳幼児の生活と遊び」 共通科目②「乳幼児の発達と心理」 東北福祉大学 総合福祉学部 平川 昌宏 氏 共通科目⑥「心肺蘇生法（普通救命講習Ⅲ）」 多賀城消防署
令和6年9月13日(金) 多賀城市文化センター	共通科目⑩「特別に配慮を要する子どもへの対応（0～2歳）」 自閉症ピアリンクセンター ここねっと センター長 黒澤 哲 氏 共通科目⑦「地域保育の環境整備」 共通科目⑧「安全の確保とリスクマネジメント」 共通科目⑨「保育者の職業倫理と配慮事項」 認定こども園ろりぼっぷ学園 高橋 恵美 氏
令和6年9月20日(金) 多賀城市文化センター	共通科目④「小児保健Ⅰ」 共通科目⑤「小児保健Ⅱ」 仙台市夜間休日こども急病診療所 所長 村田 祐二 氏 共通科目③「乳幼児の食事と栄養」 仙台市地域活動栄養士会 豊嶋 賀代 氏 共通科目⑫「実施自治体の制度について」 宮城県子育て社会推進課 佐々木 真理 氏 共通科目⑪「グループ討議」 一般社団法人マザー・ウイング 代表理事 小川 ゆみ 氏
令和6年9月27日(金) 多賀城市文化センター	選択科目①「地域型保育の概要」 選択科目②「地域型保育の保育内容」 選択科目③「地域型保育の運営」 選択科目④「地域型保育における保護者への対応」 選択科目⑤「見学実習オリエンテーション」 名取市子育て支援拠点施設 cocoI' 11 館長 久松 優子 氏

※保育施設の見学実習 2 日

② 放課後児童コース＜多賀城会場＞

ア 基本研修：（①地域保育コース（地域型保育）の基本研修と合同）

イ 専門研修

修了者：28人

実施日・会場	内 容 ・ 講 師
令和6年9月19日(木) 多賀城市文化センター	選択科目①「放課後児童健全育成事業の目的及び制度内容」 宮城県子育て社会推進課 佐々木 真理 氏 選択科目②「放課後児童クラブにおける権利擁護とその機能・役割等」 選択科目④「子どもの生活と遊びの理解と支援」 特定非営利法人子育て応援団ゆうわ 理事長 齋藤 勇介 氏
令和6年9月26日(木) 多賀城市文化センター	選択科目③「子どもの発達理解と児童機（6から12歳）の生活と発達」 自閉症ピアリンクセンター ここねっと センター長 黒澤 哲 氏 選択科目⑤「子どもの生活面における対応等」 選択科目⑥「放課後児童クラブに従事する者の仕事内容と職場倫理」 特定非営利法人子育て応援団ゆうわ 理事長 齋藤 勇介 氏

③ 地域保育コース（地域型保育）＜名取会場＞

ア 基本研修

修了者：42人

実施日・会場	内 容 ・ 講 師
令和6年11月7日(木) 名取市文化会館	ガイダンス 基本科目①「子ども・子育て家庭の現状」 基本科目②「子ども家庭福祉」 東北福祉大学 総合福祉学部 君島 昌志 氏 基本科目③「子どもの発達」 基本科目④「保育の原理」 東北福祉大学 教育学部 山崎 敦子 氏 基本科目⑦「子どもの障害」 自閉症ピアリンクセンター ここねっと センター長 黒澤 哲 氏
令和6年11月11日(月) 名取市文化会館	基本科目⑥「児童虐待と社会的養護」 東北学院大学 大学院 川村 玲香 氏 基本科目⑤「対人援助の価値と倫理」 東北福祉大学 総合福祉学部 高野 亜紀子 氏 基本科目⑧「総合演習」 一般社団法人マザー・ウイング 代表理事 小川 ゆみ 氏

実施日・会場	内 容 ・ 講 師
令和6年11月18日(月) 名取市文化会館	共通科目①「乳幼児の生活と遊び」 共通科目②「乳幼児の発達と心理」 東北福祉大学 総合福祉学部 平川 昌宏 氏 共通科目⑥「心肺蘇生法」(普通救命講習Ⅲ) 名取市消防本部
令和6年11月25日(月) 名取市文化会館	共通科目⑦「地域保育の環境整備」 共通科目⑧「安全の確保とリスクマネジメント」 共通科目⑨「保育者の職業倫理と配慮事項」 認定こども園ろりぽっぷ学園 高橋 恵美 氏 共通科目③「乳幼児の食事と栄養」 仙台市地域活動栄養士会 豊嶋 賀代 氏 共通科目⑫「実施自治体の制度について」 宮城県子育て社会推進課 佐々木 真理 氏
令和6年11月29日(金) 名取市文化会館	共通科目④「小児保健Ⅰ」 共通科目⑤「小児保健Ⅱ」 仙台市夜間休日こども急病診療所 所長 村田 祐二 氏 共通科目⑩「特別に配慮を要する子どもへの対応(0～2歳)」 自閉症ピアリンクセンター ここねっと センター長 黒澤 哲 氏 共通科目⑪「グループ討議」 名取市子育て支援拠点施設 cocoI' 11 館長 久松 優子 氏
令和6年12月4日(水) 名取市文化会館	専門科目①「地域型保育の概要」 専門科目②「地域型保育の保育内容」 専門科目③「地域型保育の運営」 専門科目④「地域型保育における保護者への対応」・ 専門科目⑤「見学実習オリエンテーション」 名取市子育て支援拠点施設 cocoI' 11 館長 久松 優子 氏 一般社団法人マザー・ウイング 代表理事 小川 ゆみ 氏

※ 保育施設の見学実習2日

(5) 放課後児童支援員宮城県認定資格研修（詳細）

※ 特定非営利活動法人子育て応援団ゆうわに委託して実施（4日間×3回）

第1回

【会 場】仙台市旭ヶ丘市民センター 大ホール

修了者：107人

実施日	内 容 ・ 講 師
令和6年9月12日(木)	「放課後児童健全育成事業の目的及び制度内容」 宮城県子育て社会推進課 佐々木 真理 氏
	「児童期（6歳～12歳）の生活と発達」 尚綱学院大学 講師 中俣 友子 氏
	「子ども家庭福祉施策と放課後児童クラブ」 「子どもの発達理解」 宮城教育大学大学院 准教授 越中 康治 氏
令和6年9月13日(金)	「障害のある子どもの理解」 「特に配慮を必要とする子どもの理解」 東北福祉大学 講師 山本 良 氏
	「放課後児童健全育成事業の一般原則と権利擁護」 東北大学 准教授 石井山 竜平 氏
	「放課後児童クラブに通う子どもの育成支援」 仙台市連坊小路マイスクール児童館 館長 佐藤 のりみ 氏
令和6年9月26日(木)	「子どもの遊びの理解と支援」 名取市那智が丘児童センター 館長 齊藤 寿一郎 氏
	「障害のある子どもの育成支援」 仙台市向陽台児童館 主任 庄子 珠美 氏
	「保護者との連携・協力と相談支援」 仙台市桜ヶ丘マイスクール児童館 館長 今野 明美 氏
	「法鍵児童クラブの運営管理と運営主体の法令の遵守」 名取市那智が丘児童センター 館長 齊藤 寿一郎 氏
令和6年9月27日(金)	「子どもの生活面における対応」 特定非営利活動法人虹の架け橋 総括 平山 恵美 氏
	「安全対策・緊急時対応」 仙台市八本松児童館 館長 松浦 大輔 氏
	「放課後児童支援員の仕事内容」 特定非営利活動法人子育て応援団ゆうわ 理事長 齋藤 勇介 氏
	「学校・地域との連携」 名取市那智が丘児童センター 館長 齊藤 寿一郎 氏

第2回

【会 場】石巻合同庁舎 大会議室

修了者：71人

実施日	内 容 ・ 講 師
令和6年10月2日(水)	「放課後児童健全育成事業の目的及び制度内容」 宮城県子育て社会推進課 佐々木 真理 氏
	「放課後児童健全育成事業の一般原則と権利擁護」 東北大学 准教授 石井山 竜平 氏
	「障害のある子どもの理解」 「特に配慮を必要とする子どもの理解」 東北福祉大学 講師 柴田 理瑛 氏
令和6年10月3日(木)	「放課後児童クラブに通う子どもの育成支援」 仙台市連坊小路マイスクール児童館 館長 佐藤 のりみ 氏
	「子どもの遊びの理解と支援」 仙台市東長町児童館 館長 田中 悠也 氏
	「児童期（6歳～12歳）の生活と発達」 尚絅学院大学 講師 中俣 友子 氏
	「障害のある子どもの育成支援」 仙台市向陽台児童館 主任 庄子 珠美 氏
令和6年10月23日(水)	「子どもの発達理解」 「子ども家庭福祉施策と放課後児童クラブ」 宮城教育大学 准教授 越中 康治 氏
	「保護者との連携・協力と相談支援」 名取市那智が丘児童センター 館長 齊藤 寿一郎 氏
	「安全対策・緊急時対応」 仙台市八本松児童館 館長 松浦 大輔 氏
令和6年10月24日(木)	「子どもの生活面における対応」 特定非営利活動法人虹の架け橋 総括 平山 恵美 氏
	「学校・地域との連携」 名取市那智が丘児童センター 館長 齊藤 寿一郎 氏
	「放課後児童支援員の仕事内容」 特定非営利活動法人子育て応援団ゆうわ 理事長 齋藤 勇介 氏
	「放課後児童クラブの運営管理と運営主体の法令の遵守」 仙台市立町マイスクール児童館 館長 小泉 節子 氏

第3回

【会 場】宮城県庁 講堂

修了者：177人、一部修了者：8人

実施日	内 容 ・ 講 師
令和6年10月31日(木)	「放課後児童健全育成事業の目的及び制度内容」 宮城県子育て社会推進課 佐々木 真理 氏
	「放課後児童健全育成事業の一般原則と権利擁護」 岩手大学 准教授 深作 拓郎 氏
	「児童期（6歳～12歳）の生活と発達」 尚絅学院大学 講師 中俣 友子 氏
	「放課後児童クラブに通う子どもの育成支援」 仙台市連坊小路マイスクール児童館 館長 佐藤 のりみ 氏
令和6年11月1日(金)	「障害のある子どもの理解」 「特に配慮を必要とする子どもの理解」 東北福祉大学 講師 山本 良 氏
	「子どもの遊びの理解と支援」 仙台市東長町児童館 館長 田中 悠也 氏
	「障害のある子どもの育成支援」 仙台市向陽台児童館 主任 庄子 珠美 氏
令和6年11月26日(火)	「子どもの発達理解」 「子どもの家庭福祉施策と放課後児童クラブ」 宮城教育大学 准教授 越中 康治 氏
	「保護者との連携・協力と相談支援」 仙台市桜ヶ丘マイスクール児童館 館長 今野 明美 氏
	「学校・地域との連携」 名取市下増田児童センター 館長 渡邊 由貴 氏
令和6年11月27日(水)	「子どもの生活面における対応」 特定非営利活動法人虹の架け橋 総括 平山 恵美 氏
	「安全対策・緊急時対応」 仙台市八本松児童館 館長 松浦 大輔 氏
	「放課後児童支援員の仕事内容」 特定非営利活動法人子育て応援団ゆうわ 理事長 齋藤 勇介 氏
	「放課後児童クラブの運営管理と運営主体の法令の遵守」 仙台市立町マイスクール児童館 館長 小泉 節子 氏

7 子どもの心のケア推進事業

東日本大震災により様々な体験をした子どもたちの心のケアを行うために、子どもたちが表す様々な精神症状や心の問題について、地域の関係機関と連携しながら充実した医療的支援を行うため、子ども総合センター附属診療所における児童精神科医療体制の強化を図っている。

また、保育士や教員など子どものメンタルヘルスに関わる支援者の対応力向上を図ることを目的とし、地域の状況の経年的変化に沿って内容を調整しながらコンサルテーションや事例検討会、研修会などを実施している。

(1) 子どもの心のケア体制強化事業

① クリニック対応医師の委嘱

クリニックの診療体制強化のために児童精神科医3名(年間101回)を外部委嘱した。

② 「りんくるみやぎ」スタッフ会議への参加

③ 「心のサポート班事例検討会」における助言

④ 子ども・若者支援地域協議会への参加

(2) 子どもの心のケア研修事業

保育士、教員、保健師等の子どものメンタルヘルスに関わる支援者を対象に、子どもの心のケアに関する研修会や対応困難な親子への関わりを学ぶ研修会を実施した。

○ 実施状況

① 保育所等関係者研修会

支援者が子どもへの効果的な支援の在り方や関わり方、また、自らのメンタルヘルスケアについて学ぶことで、対応力向上の一助となることを目的として実施した。

講義「気になる子の支援とアタッチメント障害について」

座談会「震災やコロナ禍を乗り越えて、今、想うこと」

実施日・会場	講師
令和6年8月22日(木) まなウェルみやぎ 受講者 11人	東北福祉大学 講師 柴田 理瑛 氏
令和6年9月6日(金) 栗原合同庁舎 受講者 13人	東北福祉大学 講師 柴田 理瑛 氏
令和6年9月19日(木) 気仙沼保健福祉事務所 受講者 9人	宮城学院女子大学名誉教授 足立 智昭 氏
令和6年10月9日(水) 仙台保健福祉事務所黒川支所 受講者 9人	東北学院大学 教授 平野 幹雄 氏
令和6年10月30日(水) 石巻合同庁舎 受講者 12人	宮城学院女子大学名誉教授 足立 智昭 氏
令和6年11月7日(木) 大河原合同庁舎 受講者 6人	宮城学院女子大学名誉教授 足立 智昭 氏

②児童精神科医による対応困難な親子に関する研修会

対応困難な親子への理解を深め、支援者に必要とされる視点や関わり方について考える機会とし、また、支援者自らのメンタルヘルスケアの一助となることを目的として実施した。

実施日・会場	内 容 ・ 講 師
令和6年12月5日(木) まなウェルみやぎ 受講者 12人	講話及び座談会 「関りが難しい親の理解と支援のポイント～診療場面で出会った親子を通して～」 講師 宮城県子ども総合センター附属診療所 管理者 鈴木 勝昭

③虐待から子どもを守るための研修会（児童虐待対応職員研修会）

情緒や行動の課題がある子どもたちを適切に支援するため、スタッフのメンタルヘルスの保ち方、並びに関係機関・関係職員との「良い」チームづくりについて考える機会とし、児童虐待対応力の向上を目的として実施した。

実施日・会場	内 容 ・ 講 師
令和7年1月30日(木) まなウェルみやぎ 多目的室A 受講者 26名	講義・演習 「支援者のメンタルヘルスと理想のチーム作り」 講師 東北医科薬科大学病院 精神科 病院准教授 公益社団法人宮城県精神保健福祉協会 みやぎ心のケアセンター センター長 福地 成 氏

④アートセラピー研修会

ホスピタルアートと心のケアについて学ぶことにより、支援者の対応力を高めることを目的として実施した。

実施日・会場	内 容 ・ 講 師
令和6年12月6日(金) まなウェルみやぎ 多目的室A 受講者 19人	講義・演習 「臨床美術とは何か～表現の楽しさを実感してみよう～」 講師 東北福祉大学教育学部教育学科 准教授 青木一則 氏

⑤子どもの愛着形成について考える研修会

愛着形成において課題を抱える子どもの心をよりよく育むため、子どものメンタルヘルスに関わる支援者の対応力の向上を図ることを目的として実施した。

実施日・会場	内 容 ・ 講 師
令和6年7月10日(水) まなウェルみやぎ 第1・第2研修室 受講者 73人	講義・演習 「愛着（アタッチメント）形成の不全の理解とその支援」 講師 東北大学名誉教授・AFL 発達支援研究所 代表 本郷 一夫 氏

⑥子どもの心の回復力を育てる研修会

傷つきながらも、その経験をしなやかに受け止めて立ち直る心（レジリエンス）を育てる支援について学ぶことを目的として実施した。

実施日・会場	内 容 ・ 講 師
令和7年2月6日(木) まなウェルみやぎ 多目的室A 受講者 30人	講義・演習 「こころのレジリエンスを考える」 講師 東北大学名誉教授・尚絅学院大学特任教授 加藤 道代 氏

8 発達障害者支援センターの運営

当事者とその家族の多様化するニーズに対応するため、身近な地域で充実した支援が受けられる体制が必要であることから、令和元年7月に県直営となる発達障害者支援センターを設置し、一次支援機関（市町村、障害児等療育支援事業受託事業所等）、二次支援機関（発達障害者地域支援マネジャー配置事業所）と相互に連携を図り技術支援を行った。

また、発達障害児等の家族支援を推進するため、令和3年度から直営センター事業としてペアレント・プログラム事業やメンター派遣事業等の家族支援事業を実施した。

（1）発達障害者支援センター活動実績

各圏域の発達障害者地域支援マネジャー及び障害児等療育支援事業担当者等と密に連携し、地域の実情に応じた機関支援（個別ケース等を通じた技術支援や事例検討会等）を展開した。

○相談実績（支援者相談等を含む）

相談者数

単位：人

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
実人数	10	5	4	12	2	2	7	6	2	7	5	5	67
延べ人数	10	5	7	15	5	4	7	6	4	8	6	5	82

相談者の内訳

単位：人

区 分	本 人	家 族	関係機関	その他	計
実人数	3	33	31	0	67

対象者の年齢

単位：人

区 分	0～3歳	4～6歳	7～12歳	13～15歳	16～18歳	19～39歳	40歳～	不明	計
実人数	6	8	22	10	6	8	1	6	67

相談方法

単位：件

区 分	電話	来所	訪問	メール・FAX	計
延べ件数	67	2	2	11	82

相談内容

単位：件

区 分	延べ件数
診断・相談・支援を受けられる機関について	51
対応困難な状況の改善について	15
現在の生活に関すること、家庭で家族ができること	12
相談の対象となっている児（者）が発達障害かどうか	8
現在通学している学校、利用しているサービス等	8
利用できる制度について	1
進路や将来の生活に関する相談	5
今後の就労について	0
現在勤めている職場に関する相談	0
その他	17
合 計	117

○支援者相談実績

相談件数（再掲）単位：件

実件数	延べ件数
5	6

相談対象者の圏域

単位：件

圏域	仙南	仙台A※1	仙台B※2	大崎	石巻	栗原	登米	気仙沼	計
件数	0	1	0	2	1	0	1	0	5

※1 名取市・岩沼市・亶理町・山元町

※2 塩竈市・多賀城市・富谷市・松島町・七ヶ浜町・利府町・大和町・大郷町・大衡

相談対象者の所属

単位：人

区分	幼稚園・保育所	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
実人数	1	0	2	1	1	5

相談内容（再掲）

単位：件

区分	延べ件数
相談の対象となっている児（者）が発達障害かどうか	1
現在の生活に関することや、家庭で家族ができること	3
現在通学している学校、利用しているサービス等に関する相談	1
進路や将来の生活に関する相談	1
対応困難な状況の改善について（強度行動障害、ひきこもりなど）	4
合 計	10

○連携先機関別活動実績

単位：件

関係機関	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
精神保健推進室	4	1	3	0	2	0	1	0	0	1	1	3	16
えくぼ※1	6	18	3	18	2	18	3	16	2	17	3	17	123
地域支援マネジャー配置事業所※2	8	24	8	23	12	28	11	20	8	21	12	15	190
療育支援事業委託事業所※3	5	21	9	17	10	23	8	20	8	21	9	14	165
その他事業所	2	4	4	11	7	3	11	5	4	2	5	0	58
市町村	9	4	4	9	9	4	13	8	4	4	8	1	77
保健福祉事務所	2	2	3	2	2	1	2	1	0	2	0	2	19
学校	1	4	6	2	6	8	9	5	2	4	8	1	56
幼稚園・保育所	3	1	1	1	2	0	6	3	2	2	3	0	24
教育委員会	1	7	0	0	1	0	1	3	0	0	0	0	13
医療機関	1	1	4	2	4	3	0	2	1	0	2	1	21
その他	7	7	11	9	10	13	8	7	6	6	7	4	95
合 計	49	94	56	94	67	101	73	90	37	80	58	58	857

※1 宮城県発達障害者支援センター「えくぼ」

（（1）～（5）の実績を含む）

※2 発達障害者地域支援マネジャー

※3 宮城県障害児等療育支援事業所委託事業所

○圏域別活動実績

単位：件

圏域	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
仙南	3	7	3	3	3	5	1	5	2	3	1	1	37
仙台A※1	7	9	0	3	3	4	6	5	2	4	5	2	50
仙台B※2	5	6	6	4	4	6	3	8	1	5	4	2	54
大崎	3	3	1	5	5	4	0	4	1	3	0	2	31
石巻	1	4	3	7	0	7	3	5	0	4	5	3	42
栗原	2	3	0	2	2	2	2	3	0	3	0	1	20
登米	4	2	2	6	2	3	3	4	2	3	4	2	37
気仙沼	2	3	3	2	3	4	0	2	0	3	2	2	26
全県	13	9	14	17	12	8	9	6	7	7	8	4	114
仙台市	0	0	2	1	0	0	0	0	0	1	0	0	4
計	40	46	34	50	34	43	27	42	15	36	29	19	415

※1 名取市・岩沼市・亘理町・山元町

((1) ~ (5) の実績を含む)

※2 塩竈市・多賀城市・富谷市・松島町・七ヶ浜町・利府町・大和町・大郷町・大衡村

(2) 新規ケース支援検討会・定期連絡会

令和6年度から、圏域ごとに隔月で新規ケース支援検討会及び定期連絡会を実施した。新規ケース支援検討会では各発達障害地域支援マネジャー及び障害児等療育支援事業担当者が新たに受理した相談ケースについて多職種による多角的な視点から検討を行った。定期連絡会では各圏域の発達障害者地域支援マネジャー及び障害児等療育支援事業担当者の活動状況の共有、三次支援機関（宮城県発達障害者支援センター「えくぼ」・子ども総合センター）からの情報提供等を行うことにより、支援体制の構築に向けた技術的支援を実施した。

圏域	仙南	仙台A	仙台B	大崎	石巻	栗原	登米	気仙沼	計
ケース検討数	16	14	12	17	7	14	9	32	121

(3) 情報交換会

令和6年度から、発達障害地域支援マネジャー及び障害児等療育支援事業担当者の各圏域における支援体制づくりを推進するため、三次支援機関（宮城県発達障害者支援センター「えくぼ」・子ども総合センター）とともに情報交換会を実施し、活動状況の共有や課題を把握し、関係機関とのネットワーク構築、圏域での人材育成、家族支援事業の展開等を検討した。

実施日	内容
令和6年4月11日(木)	①広域的支援人材について（精神保健推進室） ②R6体制、事業について（直営） ③R6体制、支援者相談について（えくぼ） ④取組報告（仙南（大崎））
令和6年6月13日(木)	①情報共有「ダイバーシティ就労モデル事業」 「小学生向けオンライン居場所づくり」 ②情報交換「圏域別研修実施予定」 「『人材育成』の取組状況及び課題」 「同意書及びデータ保管状況」 ③取組報告（石巻）

令和6年8月1日(木)	①取組報告(石巻) ②情報交換「不登校・ひきこもりへの対応」 ③勉強会「地域支援マネジャーとセンターに期待すること」 (厚生労働省 山根調整官)
令和6年10月3日(木)	①取組報告(気仙沼) ②勉強会「障害者就業・生活支援センターの役割と地域連携」 (わ〜く 伊藤氏、小林氏) ③支援者相談実施要領の改正(精神保健推進室)
令和6年12月12日(木)	①情報交換「強度行動障害の支援体制」 ②勉強会「相談支援事業所の役割と地域連携」 (ありのまま舎 佐々木氏)
令和7年3月17日(月)	一次～三次打合せ会

(4) 出前講座

令和2年度から令和5年度まで、発達障害児に関わる支援者(主に一次支援者)を対象に、発達障害に関する理解を深め、早期発見・早期支援の一助とすることを目的に、学校や事業所等に出向き、講座を実施してきた。令和6年度から、発達障害に関する基礎的内容については発達障害支援者基礎研修(オンデマンド配信)の受講を案内することとし、出前講座としての対応は各圏域の発達障害者地域支援マネジャーの活用を促すことで整理した。

(5) 研修会の開催

発達障害児支援業務に従事している支援者に対し、知識と技術の向上を図り、実践につなげていくことを目的に各種研修会を開催した。

発達障害支援者基礎研修(一次支援機関対象)

方式	内容・講師	受講者数
オンデマンド配信 (令和6年5月1日～令和7年2月28日)	講義:「発達障害の概要と基本的対応について」 講師:宮城県子ども総合センター 技術次長(小児科医) 佐藤 寛記	申込件数 51件 受講者数 187人

実践研修Ⅰ(相談部門(市町村、相談支援事業所、基幹相談支援センター等)職員対象)

	実施日	会場	内容・講師	受講者数
前期	①令和6年6月5日(水) ② " 7月9日(火) ③ " 8月8日(木)	まなウェルみやぎ多目的室A	講義「認知特性の理解を踏まえた相談支援」 講師:特定非営利活動法人自閉症ピアリンクセンターここねっと 法人センター長 黒澤 哲 氏 講義・演習「発達障害児者の相談支援アセスメントと具体的支援の提案」 講師:宮城県子ども総合センター 技術次長(小児科医) 佐藤 寛記	①12人 ②9人 ③10人

後 期	①令和6年11月15日(金) ② 〃 12月4日(水) ③令和7年1月21日(火)	まなウエルミ やぎ多目的室A	講義「認知特性の理解を踏まえた相談支援」 講師：特定非営利活動法人自閉症ピアリンクセ ンターここねっと 法人センター長 黒澤 哲 氏 講義・演習「発達障害児者の相談支援アセスメン トと具体的支援の提案」 講師：宮城県子ども総合センター 技術次長（小児科医） 佐藤 寛記	①6人 ②6人 ③6人
--------	---	-------------------	---	-------------------

実践研修Ⅱ（直接支援部門（保育所、小・中・高校、放課後等デイサービス等）職員対象）

	実施日	会場	内容・講師	受講者数
前 期	①令和6年6月21日(金) ② 〃 7月11日(木) ③ 〃 8月21日(水)	まなウエルミ やぎ第1・第2 研修室	講義・演習「発達障害特性のアセスメント ティ ーチャーズ・トレーニング①～③」 講師：宮城県子ども総合センター 技術次長（小児科医） 佐藤 寛記	①76人 ②71人 ③71人
後 期	①令和6年10月29日(火) ② 〃 11月27日(水) ③令和7年1月9日(木)	まなウエルミ やぎ第1・第2 研修室	講義・演習「発達障害特性のアセスメント ティ ーチャーズ・トレーニング①～③」 講師：宮城県子ども総合センター 技術次長（小児科医） 佐藤 寛記	①26人 ②26人 ③27人

母子保健体制強化事業（発達障害児支援分野）

（県・市町村の保健師、市町村母子保健事業に従事する職員等対象）

実施日	会場	内容・講師	受講者数
令和6年8月2日(金)	自治会館（ハイブ リッド）	講義「発達早期のアセスメントの視点」 講師：宮城県子ども総合センター 技術次長（小児科医） 佐藤 寛記 講義「アセスメントツールの活用例に関して」 講師：弘前大学大学院保健学研究科 心理支援科学領域 教授 斎藤 まなぶ 氏 講義「健診で見つかった「気になる子」への 支援の考え方」 講師：こん小児科クリニック 院長 今 公弥 氏 行政説明「家族支援事業の概要について」 説明者：子ども総合センター発達障害者支援班 技師 山部 由佳	102人

		取組紹介 紹介者 ①南三陸町保健福祉課 係長 小野 かおり氏 ②松島町町民福祉課 主幹（保健師） 児玉 藤子 氏	
--	--	---	--

福祉と教育の連携による発達障害支援者研修（福祉：市町村、保育所、放課後等デイサービス等職員、教育：小・中・高校特別支援教育コーディネーター等）

圏域	実施日	会場	内容・講師	受講者数
大崎 栗原	令和6年8月28日（水）	大崎合同庁舎 501～504 会議室	事前研修（動画視聴） ○共通 「教育と福祉の連携～発達障害者支援の取組について～」	福祉16人 教育82人
気仙沼	令和6年8月30日（金）	気仙沼合同庁舎 大会議室	講師：尚絅学院大学 准教授 佐々木 健太郎 氏 「子どもの特性を整理して考える」	福祉13人 教育30人
仙台B	令和6年9月10日（火）	仙台合同庁舎 1001～1003 会議室	講師：宮城県子ども総合センター 技術次長（小児科医） 佐藤 寛記 ○教育機関参加者向け 「宮城県発達障害者支援体制について」（子ども総合センター発達障害者支援班作成）	福祉20人 教育69人
石巻 登米	令和6年9月12日（木）	登米合同庁舎 203・501 会議室	○福祉機関参加者向け 「特別支援教育の支援体制について」（総合教育センター特別支援教育班作成）	福祉16人 教育78人
仙南	令和6年10月10日（木）	まなウェルみやぎ 第1・第2 研修室	本研修 講義・演習「子どもの支援を考える～個人への支援、地域の支援者と連携した支援～」	福祉11人 教育53人
仙台A	令和6年10月16日（水）	まなウェルみやぎ 第9・10 研修室	講師：宮城県子ども総合センター 技術次長（小児科医） 佐藤 寛記	福祉21人 教育60人

圏域別研修

圏域	実施日	会場	内容・講師	受講者数
登米	①令和6年11月1日（金） ② " 12月6日（金）	登米市南方総合支所大会議室	①「保護者との関係づくり～保護者からのメッセージ～」 発表者：宮城県発達障害ペアレント・メンター2名	①19人 ②15人

			②「アタッチメント形成に課題のある親子への支援～子どもが主役の支援に向けて～」 講師：宮城学院女子大学 名誉教授 足立 智昭 氏	
仙南	令和7年2月12日（水）	柴田町生涯学習センター会議室	講義「強度行動障害支援の基本」 講師：宮城県発達障害者地域支援マネジャー（仙南圏域） 猪又 初恵 氏 実践発表①「強度行動障害児への支援における支援者の学びと支援の変化」 発表者：放課後等デイサービスほっとルーム 槻木 留守 祐子 氏 実践発表②「知的障害を持つ自閉症児の特性を踏まえた支援の試み」 発表者：放課後等デイサービスふくのねきりん 嶋田 ゆかり 氏	27 人

（6）ひらがな音読支援

読みの苦手な児童からディスレクシアの児童まで幅広く読みの困難を持っている小学校1年生児童に早期に気づき指導を開始することを目的に、ひらがな音読支援に取り組んでいる石巻市、村田町、多賀城市からの依頼に応じて、実施内容に関する助言・指導及び技術的支援を行った。

年3回のスクリーニング評価

6月：直音音読検査、11月：直音音読＋単音音読検査、2月：単音音読＋単文音読検査

スクリーニング評価後の指導

各スクリーニングで指導対象となった児童に対して、少なくとも21回の解説指導（一文を正確に読むための訓練、1回5～10分程度）を学校（学級担任等）で実施。

研修等

実施日	会場	内容・講師	受講者数
令和6年5月29日（水）	多賀城市内小学校	多賀城市第1回小学校読みの困難を持つ児童のスクリーニング研修会 講義・演習「読みの困難をもつ児童のスクリーニングと指導」 宮城県子ども総合センター 技術次長（小児科医） 佐藤 寛記	15 人
令和6年11月22日（金）	石巻市内	第2回特別支援教育体制整備委員会 講義「ひらがな音読支援について」 宮城県子ども総合センター 技術次長（小児科医） 佐藤 寛記	54 人

(7) 発達障害者家族支援

○ペアレント・プログラム事業

発達障害児等の家族支援を推進するため、子育てに難しさを感じる発達障害児等の家族にペアレント・プログラム（保護者の認知を肯定的に修正することに焦点を当てた簡易的なプログラム）を提供できる体制構築を目指し、ペアレント・プログラムの普及、講師・実施者の養成支援を行った（R6 ペアレント・プログラム修了者：12 人、認定者 11 人）。

研修等

実施日・会場	内容等	受講者数
令和 7 年 2 月 17 日（月） 子ども総合センター会議室	ペアレント・プログラムアドバンスワークショップ 講師：宮城県発達障害者支援センター「えくぼ」 専門相談員 白石 雅一 氏	18 人

○ペアレント・トレーニング事業

発達障害児等の家族支援を推進するため、子育てに難しさを感じる発達障害児等の家族にペアレント・トレーニング（子どもの行動変容を目的に保護者が適切な養育スキルを獲得することを目指したプログラム）を提供できる体制構築を目指し、ペアレント・トレーニングの普及、実施者の養成支援を行った。

研修等

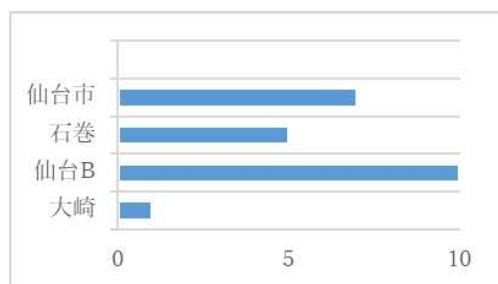
	実施日・会場	内容等	受講者数
主催	①令和 6 年 10 月 17 日（木） ②令和 6 年 10 月 24 日（木） ③令和 6 年 10 月 31 日（木） オンライン	ペアレント・トレーニング実施者養成研修 講師：立正大学心理学部 名誉教授 中田 洋二郎 氏	10 人
講師派遣	令和 6 年 11 月 1 日（金） 名取市保健センター指導室	ペアレント・トレーニング研修会 「ペアレント・トレーニングの基礎知識について」 講師：宮城県子ども総合センター 技術次長（小児科医） 佐藤 寛記	47 人

○発達障害ペアレント・メンター事業

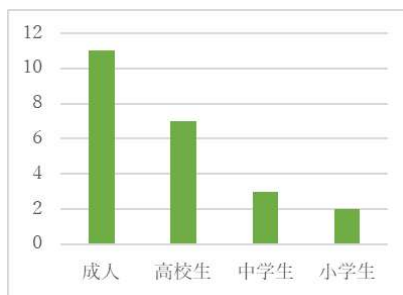
発達障害児等の家族支援を推進するため、発達障害のある子どもを養育した経験のある保護者を発達障害ペアレント・メンター（以下「ペアレント・メンター」という。）として養成し、啓発活動やグループ相談等による家族支援を行った。

登録ペアレント・メンターの属性（20人）

【居住地域】



【子どもの年齢層】 ※きょうだい含む



研修等

実施日	会場	内容等	参加者数
令和6年6月26日(水)	子ども総合センター 多目的ルーム	メンター交流会 メンター同士の交流及び情報交換	7人
令和7年2月13日(木)	子ども総合センター 会議室 オンライン (ハイブリッド)	スキルアップ研修会 活動報告会 発達障害児者支援に関する行政説明	8人

登録ペアレント・メンター派遣実績（派遣件数7件、実11人、延14人）

実施日	派遣先	メンター派遣人数	参加者数
令和6年7月10日(水)	登米市内事業所	2人	13人
令和6年8月30日(金)	名取市内医療機関	2人	7人
令和6年9月26日(木)	岩沼市内小学校	2人	10人
令和6年10月10日(木)	市町村自立支援協議会	2人	18人
令和6年10月24日(木)	市町村自立支援協議会	2人	15人
令和6年11月1日(金)	登米市内行政機関	2人	19人
令和6年11月26日(火)	大衡村内事業所	2人	10人